

5月度土例会 (2019.05.18)

於：福祉文化会館202号室

ゲスト : Ms. Nokuthula Sibonokuhle Nkonyane  
( Kingdom of Eswatini )

テーマ : The Kingdom of Eswatini

今回のゲストは、

国立京都工芸繊維大学にて応用生物学を学ぶ、エスワティニ王国からの留学生：ノキさんです。

最初の出会いは、

Outing神戸で相楽園を訪問した時でした。

ノキさんは、その時、集合に遅れていたのので、

我々は、相楽園の門の所で待っていたのです。

門の前を外国人の女性がウロウロしています ?

どうしましたか?と尋ねると、ミスター笹口を探している由。



えっ!、貴方はノキさんですか? ⇒ Yes!

我々は、待っているゲストは男性だと勝手に思い込んでいたのです。ビックリ仰天しました。

これが、忘れ得ぬ、最初の出会いです。

さて、例会当日、彼女から電話、「JR茨木に居るけど、会場への道が分からない」

⇒ 迎えに行ったのは私、迎えの縁がよくよくあります。

会場に到着してトイレを使いたいとの事。⇒ 出てきた彼女を見て仰天しました。

民族衣装を身に纏ったノキさんが現れたのです。

前置きが長くなりました、本題に入ります。

ノキさんは、

母国<Eswatini>の紹介をしてくれました。



<国名>

スワジランド王国は、

1968年9月に

イギリスより独立しましたが、

イギリス領時代の国名<スワジランド>

を変更せずにそのまま継続しました。

Swaziland = Swazi + land (スワジ人の国)

2018年4月に、

<エスワティニ>に変更しました。

<スワジランド>も<エスワティニ>も、スワジ人の国を意味します。

英語を排除して現地語に回帰しました。

彼女は同じ意味だと淡々と語りました。

<国旗> (Wikipediaを参照)

赤 : 過去の戦い

青 : 現在の平和と安定

黄 : 国の資源

白と黒 : 白人と黒人の平和的共存

盾と槍 : 敵からの防衛



<言葉>

Siswati : スワジ語

English : 英語

「こんにちは」はスワジ語で「Sawubona」(サウボーナ)と言います。

<人口>

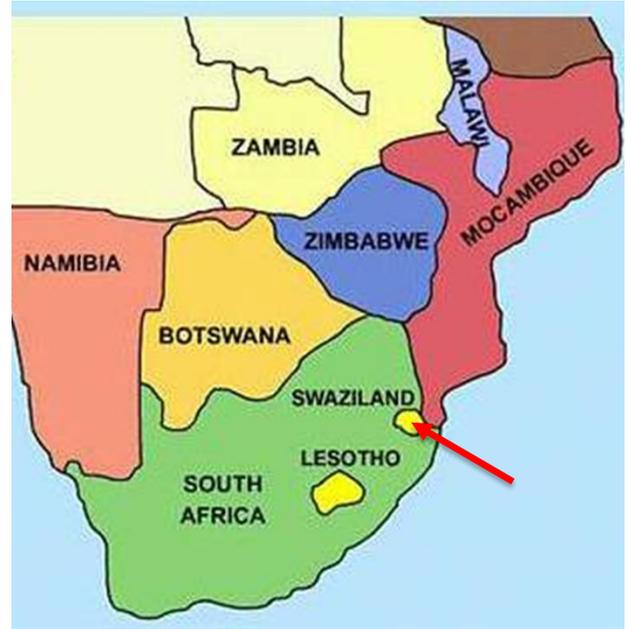
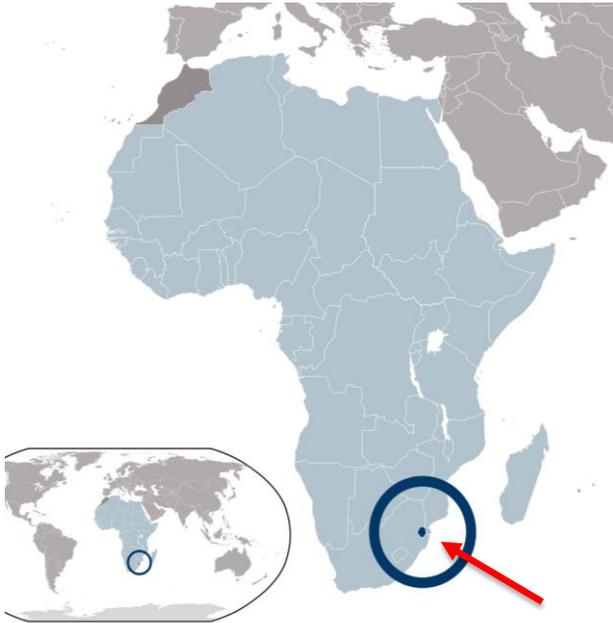
約140万人

<国土面積>

17,363km<sup>2</sup> (四国位の広さでしょうか)

### <地図上の位置>

アフリカ大陸の南東に在り、南アフリカ共和国とモザンビークに囲まれている。



### <首都>ムババネ (Mbabane)

行政首都、首都の人口は約8万人

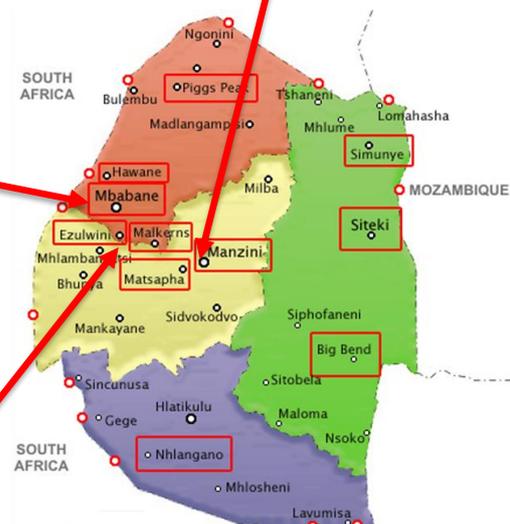


### <最大の都市>マンジニ (Manzini)

人口は、11万人

空の玄関口（マツァパ国際空港）が所在します。

農業・牧畜が盛んで工業の中心地ともなっています。



### <他の重要な都市>ロバンバ (Lobamba)

首都：ムババネの南方約10kmに位置し、  
エスワティニの王都、人口1.1万人  
王宮と議会があり、立法の首都

## <君主国家>

アフリカには君主制の国はモロッコ王国等、他に存りますが、殆が象徴にすぎなくなっています。  
 エスワティニはアフリカで唯一残っている立憲君主国家です。



一夫多妻が認められており、  
 現王は、15人を妻帯しているとか！

後述の葦ダンスは  
 お妃選びの祭典だとか



<祭典>の伝統は、エスワティニでは重要です。

未婚女性の装いと葦ダンス

Umhlanga : ウムランガ  
(葦ダンス)

国中の生娘が集まり  
国王と母に葦を捧げる



葦は、  
生活の中に活用されています。



-Umhlanga- Reed dance  
"Maidens"

こちらは既婚夫人達  
帽子に特徴があります。

衣装の結び目は、  
左の方にあるのが伝統様式

ノキさんはこの衣装でした。



Marula Festival  
"Women"

Incwala Festival

伝統様式を纏った男性  
手に持つ盾の形は  
国旗にもありますね。

スワジの伝統ダンスに  
国中の男性が参加します。



Incwala- Sacred  
Mostly "Men"

Bush Fire Festival

毎年、5月に野外で  
行われる現代の祭典



Bush Fire Festival

## 豊かな自然

アフリカ大陸は野生動物達の宝庫です、エスワティニも例外ではありません。  
10以上の自然保護区があり、素晴らしい自然環境で知られています。

Wild animals in Malolotja Nature Reserve



Canopy tours



Hiking



highest Numbers of nesting vultures in Hlane Royal National Reserve



ハゲワシの営巣地

## 史跡 (Historical Sites)

Sibebe Rock- three billion years old



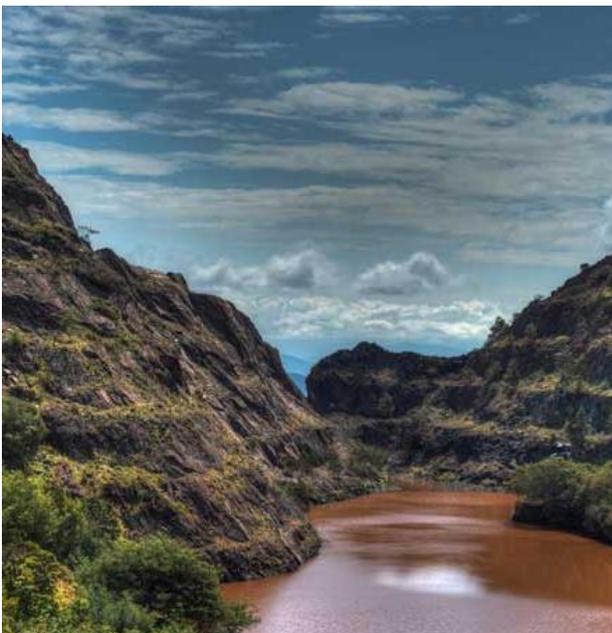
30億年前にできた、花崗岩の岩山  
一枚岩としては、  
オーストラリアのエアーズロックに次ぐ大きさ

豊富な水量がある滝

Mantenga Falls



Ngwenya mine-43000 years old



この鉱山は、石器時代から使われた  
世界最古の鉄鉱山と考えられています。

水の色は、赤茶色（鉄さびの色）

## エスワティニ料理 (Eswatini Cousine)



< 主食 >はトウモロコシ (日本で見るトウモロコシよりやや白い)



Corn- Staple food

焼いたり  
煮たり  
粉にして、お粥にしたり  
emahewu  
：発酵した薄い粥から作る  
飲物  
ひきわりトウモロコシの粥  
等々

< 肉 >



Stews : シチュー  
Boiled : 煮る  
Grilled : 焼く  
Dried : 乾す

の料理で食べます。



Meat  
Stews, Boiled, Grilled, Dried

乾すのは、保存の為。

< 魚 >

内陸部に位置して、海から遠いので、魚は少ないし、高い  
寿司屋さんはあるかの質問には、一軒あるが高いとの事。

< 野菜 >



かぼちゃ  
豆類

Vegetables

< 他の特記事項 >

**More fast facts**

- People from Eswatini- Swazis/ EmaSwati
- Currency- Lilangeni
- Religion- Christianity
- Famous sports- Soccer, Netball, Volleyball

通貨

Lilangeni (リランゲニ)  
1 Lilangeni  
= 7円後半

宗教

キリスト教

スポーツ

サッカー  
ネットボール  
バレーボール

ネットボールとは、調べてみました。

バスケットボールのルールを基準に、女性向けのスポーツとして誕生した。  
主にイギリス連邦の国と地域で競技されるようです。

< エスワティニの人達はどのような ? >



礼儀正しく  
よく働き  
笑顔があり  
仲良し

The People of Eswatini



RESPECTFUL

FRIENDLY

BIG SMILES

COMMUNITY ORIENTED

< エスワティニの産物 > 砂糖



砂糖の輸出額が大きい



Sugar Production  
4<sup>th</sup> largest producer in Africa

< エスワティニの産物 > ガラス細工



廃ガラスを利用して作成  
特異なデザインです。



Swazi Glass

< エスワティニの産物 > ろうそく



カラフルで素朴な  
デザイン



Swazi Candles  
African Themed Candles

< Jam >



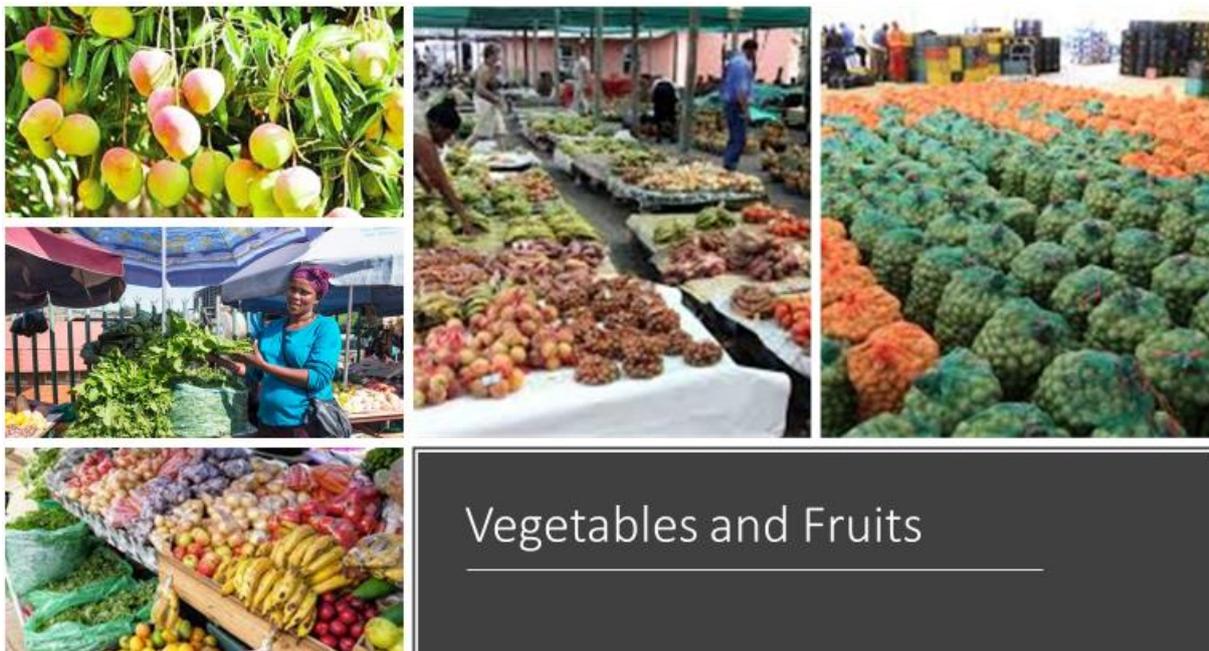
< Sauces >



チャツネ  
< chutneys >



< 野菜と果物 >



Vegetables and Fruits

マンゴーや（日本で見るマンゴーとは形が少し違いますね）  
市場にあふれる野菜

< エスワティニの工芸品 >



カラフルで  
細やかなデザイン



The artisans of ESwatini

## < エスワティニへの旅 >



When to come, What to do?  
Eswatini is a Nature Paradise

いつが良いかの質問に  
四季があり  
春か秋が良いとの事でした。



**THE BEAUTIFUL KINGDOM OF  
ESWATINI  
WELCOMES YOU.....**

**.....And Remember  
Africa is not a  
country**



ノキさんは、<何処から来たの>と聞かれた時に、

<アフリカ>という一括りの答えを期待されていると感じる事が多いそうです。  
<アフリカ>には多くの国があり多様な文化があります。

彼女の国は<エスワティニ>です。

誰しも、愛する国があり、親しんだ文化があります。  
それらは、国の名前に象徴されていると理解しました。

## < 何故、日本に ? >

留学先は英国か日本を提示された。

日本に魅力を感じたので、日本を選びました。

2016年の統計によると、在日のエスワティニの人は10人程度だそうです。  
5/18例会には、10人の中の、2人の方が見えました。  
これは、すごいことだと思います。